

自己評価報告書

平成 23 年 4 月 20 日現在

機関番号：15501

研究種目：基盤研究 (C)

研究期間：2008～2011

課題番号：20530826

研究課題名 (和文) アジア地域における美術教育課程の実質化調査研究

研究課題名 (英文) A Study on the Implementation of the Curriculum of Art Education In Asian Region

研究代表者

福田 隆真 (FUKUDA TAKAMASA)

山口大学・教育学部・教授

研究者番号：00142761

研究分野：美術教育

科研費の分科・細目：教育学・教科教育学

キーワード：美術教育、教育課程、シンガポール、マレーシア、台湾、アジア地域、教材研究

1. 研究計画の概要

本研究はアジア地域における美術教育の教育課程がどのように実質化されているかを検討するために、美術教育の実態について実態調査を行うものである。

シンガポール、マレーシア、台湾における教育課程、教員養成、教科書・参考書、教育方法、教育実践の実態について現地調査を行い、さらに美術教育を支えている各国・地域の美術文化をあわせて調査するものである。

特に、多民族多文化社会における伝統文化と現代文化をどのように教材化しているのかに焦点を当てている。具体的には、異文化理解のための美術教育、美術教育課程と美術文化の関連、教員養成と専門教育などである。これらの事項を把握するため、上記の国及び地域における初等・中等教育学校、教員養成機関、高等教育機関等を訪問し、資料収集、面談及び取材によって、教育課程がどのように構成され、さらにそれが教育現場においてどのように実質化されていくのかを明らかにする。

2. 研究の進捗状況

シンガポールでは南洋工科大学教育研究所において、美術教育の Winston Ang から美術教育の総合的内容と現状を調査した。また、伝統美術文化と現代美術文化の関連について、博物館、アートギャラリーにおいて調査を行った。さらに美術館での美術教育なども含めて美術文化の教材化、創造性教育の方法を調査した。現行の教育課程と初等中等美術教科書の教材構造との関連を明らかにし、美術教育実践の調査を実施している。

マレーシアにおいては教育省での調査によって、教育課程が現在改訂中であることが

明らかになり、改訂のポイントについて調査中である。教育課程がどのように実践されているかについては、複数の初等学校と中等学校を訪問し、実態調査を実施している。同時に、クアラルンプル特別教員養成学院、スルタン・イドゥリス教育大学において、美術の教員養成カリキュラムと教材の調査を行った。また、美術教育の参考書籍の内容と初等教育、中等教育の実態の相関を分析している。

台湾においては台北教育大学において、林曼麗教授等と面談し、台湾における美術教育の現状と方向性についての詳細な解説を受けた。そして、美術教育課程と教員養成の調査を台北教育大学、屏東教育大学、花蓮教育大学 (現東華大学) において実施した。同時に、台北県、屏東市、高雄市、花蓮市の小学校を訪問し、授業観察、教育課程の調査、教職員への面談調査を通して、学習領域「芸術と人文」の実態調査を行った。さらに「芸術と人文」の教科書研究も平行して行っている。また、教育課程の背景としての美術文化を把握するため、国立故宮博物院、台北市立美術館、国立台湾美術館、高雄美術館等において伝統美術文化と戦後の美術文化について資料収集と取材を行い、教育課程、教材との関連を検討している。

また、実態調査以外のアジア地域の研究として、中国と韓国美術教育について文献と関係者の協力を得て、調査を行っている。

3. 現在までの達成度

②おおむね順調に進展している。
(理由)各地域での実態調査については、事前調査と合理的な日程調整、現地での協力者の手配を十分に準備して実施しているため、調査の目的はおおむね達成できている。

収集した資料は予想よりも多く、資料の整理、読解、分析については、分担して行っている。言語の問題や翻訳の分量、さらに歴史的・社会的背景の深い理解を要する資料も多いので、それらの分析とまとめに時間を要している。

4. 今後の研究の推進方策

今後の推進については当初の計画に大きな変更点はない。平成 23 年度はこの研究課題の最終年度なので、国・地域別のまとめと全体を俯瞰した教育課程の実質化のプロセスを考察する。

(1) シンガポールについて

シンガポールにおいては創造性育成の方法について初等、中等教育の調査を実施する。

(2) 台湾について

台湾においては中等教育における芸術と人文の調査を行い、統合的扱いの意味を検証する。

(3) マレーシアについて

マレーシアでは新しい教育課程の内容調査を行う。

(4) 教育課程の実質化のプロセス

教育課程の実質化のプロセスを各国、地域において検証し、教科書、教材、教員養成、教育方法、美術文化との関連について分析しまとめとする。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計 5 件)

① 福田隆眞、マレーシアの小学校美術教育教材と実践調査 2009、山口大学研究論叢、60 巻、255-265、2010、査読無

② 福田隆眞、視覚言語によるマレーシア美術教育について、基礎造形、18 巻、39-46、2010、査読有

③ 福田隆眞、上原一明、陳イヨンチュン、台湾の小学校における「芸術と人文」教育課程の実践調査その 1、その 2、山口大学教育学部附属教育実践総合センター研究紀要、28 号、49-70、2009、査読無

④ 福田隆眞、マレーシア中等教育美術の内容・教材構成について、山口大学教育学部研究論叢、59 巻、293-302、2009、査読無

⑤ 福田隆眞、美術教育の背景としてマレーシアの美術と美術家について (1)、山口大学教育学部研究論叢、58 巻、267-275、2008、査読無

〔学会発表〕(計 1 件)

① 福田隆眞、マレーシアにおける美術教育の実践、日本教育大学協会美術部門協議会中国地区総会、2010. 6. 29、島根大学

〔図書〕(計 1 件)

① 福田隆眞、林永利監修、羅美蘭、佐々木 幸著、風和文化芸術有限公司(台北)、解析台湾・日本美術教育興児童画、2010、94 頁

〔産業財産権〕

○出願状況(計 0 件)

○取得状況(計 0 件)

〔その他〕

なし